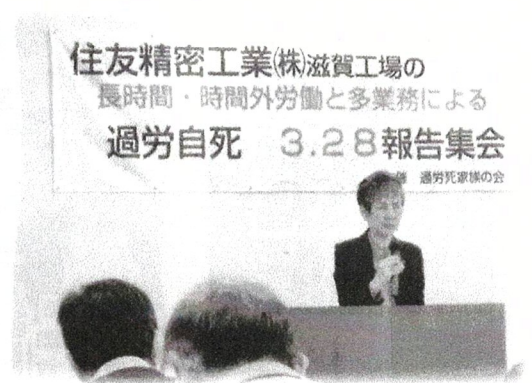




3月21日、川西市子ども人権オンブズパーソン 2025年次報告会に行ってきました。「子どもの権利に根ざした子ども施策を考える」をテーマに、「子どもの最善の利益を追求する保育政策に向けて」、「部活動の社会移行」に関する報告及びオンブズパーソン3名による討論会が行われました。

左写真は、子どもたちが自ら書いた「子どもの権利条約カルタ」です。ダウンロードして、利用することができます。



住友精密工業(株)滋賀工場の長時間・時間外労働と多業務による過労自死 3.28報告集会 過労死家族の会

相談できる処があるよ
ひとりで悩まないで!

川西市子どもの人権オンブズパーソン



こまったとき なやんだとき フリーダイヤル

0120-197-505

月～金 10時～18時 夜や土日・休日は留守番電話

受付だけならネットでもできるよ

住友精密工業(株)滋賀工場 過労自死 報告集会

私(黒田)は、3月28日、長時間・時間外労働と多業務により精神障害(うつ病)を発症し自死に至った A さんの労働災害認定までの経過、損害賠償請求、再発防止策など合意書の確認、合意するまでの報告集会に行ってきました。

大学院を卒業後、有能な若手社員として雇用された A さん。就職3年半後、滋賀工場に異動。慢性的な人手不足の中、7業務他の仕事に従事、残業だけでなく、自宅でも仕事をしなければならないことを会社は把握していたにも関わらず容認。精神障害(うつ病)を発症、29歳の若さで、ご家族に手紙を書いて自死に至ります。

ご遺族の会社との交渉、支援する会の立ち上げ、労働組合や弁護士との連携・経過の中で、時間外労働時間が2倍以上の113時間、12日間の連続勤務などの実態から労災認定。

2度と同じ過ちを犯してほしくないというご遺族の意志もあり、再発防止のための労働時間の管理、就業時間外の業務連絡原則禁止、メンタルヘルス相談体制、健康管理体制の充実などなど、社内周知の徹底などを約束。

社長・会社役員のご遺族への謝罪、合意書への調印となりました。

亡くなられたご本人が戻って来られる訳ではありませんが、ご家族は無念の思いを持ちながら、過労死家族の会の一員として活動されています。

当日、川崎重工業(株)・中国外向エンジニア過労死事件のご遺族の発言もありました。国内だけでなく、海外勤務の方

の過労死。今、「海外での働き方を考える 海外労働連絡会」が立ちあがっています。

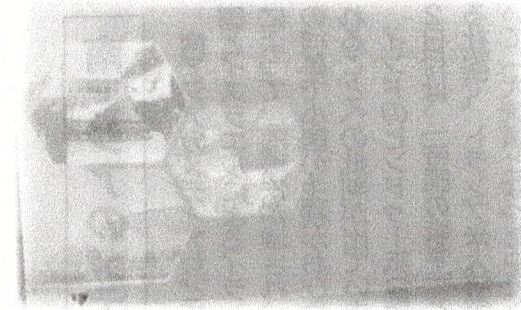
様々な場面で、人間らしく生きたい・働きたいと思いながら無念の死を遂げたご本人に成替わって、闘っておられます。人間としての労働について、これからも考えていきます。



右上の写真 大坂青山大学桜まつり
右の写真 清和源氏まつり 奉納射会 参列



左写真は、NO WAR 梅田ヨドバシ前
清水ただし元衆議院議員
右端写真は、三宮マルイ前
原発ゼロ行動



3月18日、東谷公民館で「川西の水道を考える会」が年金者組合の主催で行われました。たくさんの方の参加で、関心が高いことがわかりました。

まず、市上下水道局の出前講座で「水道水、飲んでますか?~川西市の「水」を考えよう~職員がまとめた市水道の歴史(1町2村の合併、一庫ダム建設、南部の井戸水と県水購入と料金など)

その後の質疑で、国が交付金や補助金で自治体を縛る方向の「ウォーターPPP」官民連携について、水道料金の値上げなどへの質問や意見が相次ぎました。

命の水、住環境や健康の要の下水道について、今後注視が必要です。

私は絶対平和♡
人間らしい暮らしの保障
共生社会の実現~
憲法遵守

